

令和6年度「東区区民アンケート」の実施結果について

1 実施概要

<本 調 査>無作為抽出した 2,000 人の区民に対しアンケートを郵送

<比較調査>インターネット及び紙回答で、回答者を限定しない公開型アンケートを実施

※回答数や本調査との結果の乖離などを分析し、今後の調査手法を検討

※実施にあたっては、東区自治連合協議会、区内小中学校及びこども園等に協力いただいた。

2 実施結果

資料3別紙「堺市東区区民アンケート調査結果報告書【単純集計・前回比較】」参照

※報告書の詳細版については現在調整中、1月中を目途に配付予定

3 比較調査(公開型アンケート)について(中間報告)

東区自治連合協議会、小中学校及びこども園に協力をいただいたことで、500名以上の方に高い関心を持って回答いただけた。

公開型アンケートについては、区民の皆様の意見を区政に反映できるよう、手法や利用シーン等について引き続き研究していく。

※本調査との比較

問2(年代)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
本調査(n=986)	1.0	6.0	8.3	14.9	19.2	8.0	8.0	34.3	0.3
比較調査(n=542)	0.6	3.1	21.4	43.9	16.1	4.4	3.9	6.5	0.2

問7(家族構成)	配偶者	子(就学前)	子(小学生)	子(中学生)	子(高校生以上)	親	祖父母	孫	兄弟姉妹	その他
本調査(70.0%) n=690	75.4	10.3	11.2	8.4	31.6	19.6	1.0	3.9	7.8	2.8
比較調査(94.6%) n=513	86.7	25.5	55.9	29.0	24.8	10.5	2.3	1.0	2.7	1.0

年齢について、『公開型』では 30 歳代及び 40 歳代の比率が全体の 65%超を占めており、『無作為』の同年代に比べ42.1ポイント増と著しく高い結果となった。

また、家族構成についても、『公開型』では『無作為』と比べ配偶者及び子(就学前～中学生)と同居の割合が高く、家族構成についても属性が大きく異なることを示唆している。

回答結果につき、現在、比較分析を行っているところ。(報告書詳細版にてお示し予定)